

會政策時報」及び「勞働年鑑」其の他の調査資料の編輯出版、社會政策學院の經營の他研究會、講習會等の開催に關する諸事業を行はしめたこと、尚、協調會館の公開、勞働學校の創設等の諸計畫を樹てた。

第二節 協調會の解散

第一項 協調主義の民主的性格

協調會は終戰後役員の改選、協調會目的の修正、新事業計畫等を實施することにより、戰時的偏向の是正に努めると共に創立以來の協調精神を新たなる民主的改革の線に沿ふて實踐するため最大の努力を拂つた。然し、終戰直後に於ける急激な旧秩序の破壊、殊に戰時に於ける

勞働運動の禁壓に對する反動は、協調會活動の眞意義を没却せんとする傾向すらあるもの如くであつた。そこで、本會は「協調會宣言」の傳統的精神を再説して、新たなる民主的社會改革の推進力たる立場を明徴にする必要を認め、即ち、昭和二十一年四月次の如き「協調會の基本的性格」なる一文を草して關係方面に提示したのである。

「協調會の基本的性格は、民主的産業平和の實現を圖るのを目的とすること、社會政策の調査研究に主眼を置いてその實行を促進する事業を行ふこと及びその一切が資本家と勞働者との協同調和を圖る主義による